

# 近藤ゼミナール

文責者：前田琉翔 前田絢音 高橋舞弥 大林和朝

## ゼミの目的・概要

近藤ゼミナールでは、「地域や企業の課題解決案を考へ、地域活性化へ結びつける」をテーマに、座学だけでなく学外での活動に積極的に取り組んでいる。学生自ら考えた地域活性化案を実際に行政や企業、団体に提案することで、〈提案力・実行力〉を身に付けることを目的としており、全学科の学生が交流することで、様々な視点から課題にアプローチできるようになる。

また、国内外の学生とも親睦を深めるため、価値観や文化の違いについて理解するきっかけにもなる。

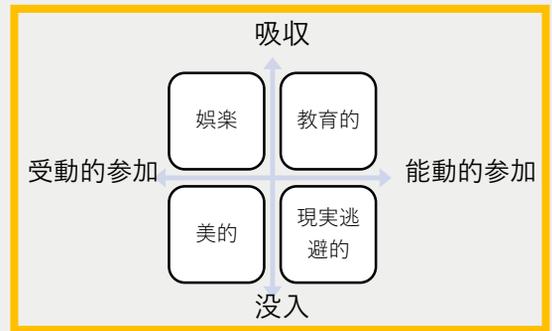


図1 パイン・ジョセフ2世, ギルモア・ジェームス・H(2005)「経験経済・脱コモデティ化のマーケティング戦略」ダイヤモンド社、p.57を基に筆者作成



## 地域活性化（福井県敦賀市）

昨年に引き続き、観光の視点からアプローチし、敦賀市の地域活性化を促進させる取り組みに参画している。

今年から敦賀市に加えて、西日本旅客鉄道にも参画していただき、「サウナ×敦賀」という全く新しい観光形態の企画・立案を行っている。学内や現地でのアンケート調査をもとに市場規模を算出し、サウナユーザーを観光に結びつけるにはどうすればいいのかを日々議論している。

現在は、現地の観光資源である「わかさいくる」の利用者にサウナで心身の疲れをとってもらうことで、相乗効果が生まれるのではないかと仮説を立てており、仮説立証に向けたアンケート調査と現地の導線確認を行っている。



## 学外発表

慶南道立南海大学（韓国・慶尚南道南海郡）で開催された「2024 国際グローバル観光学生学術大会」に参加した。当学会は過疎化や少子高齢化に悩む地域が抱える諸問題を学生が大学で学んだ知識と実践的な活動を通じて地域課題を因縁を目的とする学術大会である。当ゼミナールでは3名の生徒が2つのグループに分かれて発表し、双方高い評価と今後につながるフィードバックを頂いた。

